



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月30日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東  
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,880	△11.5	△627	-	△630	-	△1,050	-
26年12月期第2四半期	3,254	3.4	230	△67.9	223	△68.9	129	△70.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△151.35	-
26年12月期第2四半期	18.72	17.86

(注) 平成27年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	2,560	1,817	70.9	261.63
26年12月期	3,455	2,866	82.9	413.05

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 1,816百万円 26年12月期 2,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年12月期	-	0.00	-	-	-
27年12月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 平成27年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

### 3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△10.1	△1,050	-	△1,050	-	△1,600	-	△230.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期 2 Q	6,941,800株	26年12月期	6,939,360株
② 期末自己株式数	27年12月期 2 Q	-株	26年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期 2 Q	6,939,795株	26年12月期 2 Q	6,922,314株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成27年7月31日（金）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和策により、企業収益は回復傾向にあり、緩やかな景気回復基調が継続されるものと期待されます。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内ソーシャルゲーム市場についても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注1）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第2四半期累計期間においては既存タイトルに関しては、運営体制の強化を行い引き続き売上収益に貢献しておりますが、本年5月にリニューアルを実施したネイティブアプリケーション「千年の巨神」の売上高の不振及び新規タイトルの品質向上のためのリリース時期の延期等により、厳しい状況で推移いたしました。以上の当期の業績見込みを踏まえ、海外拠点の整理・縮小等に伴う特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しを行っております。

今後の見通しにつきましては、新規タイトルのマーケットでの競合状況、ゲームの機能面検証をより精緻に行うとともに、収益性の観点からもプロダクトポートフォリオの見直しを行い、従来予定の6タイトルから4タイトルに絞り込んでのリリースを予定しております。

さらに、ゲーミフィケーション（注2）を活用したキャラクターアイテムの提供や0 to 0（注3）プロモーション活動も引き続き進めており、様々な企業と積極的に提携を行っていく所存です。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は2,880百万円（前年同四半期比11.5%の減少）、営業損失は627百万円（前年同四半期は営業利益230百万円）、経常損失は630百万円（前年同四半期は経常利益223百万円）、四半期純損失は1,050百万円（前年同四半期は四半期純利益129百万円）となっております。

（注）1. ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

2. ゲーミフィケーションとは、ゲーム制作でのユーザーを楽しませるノウハウをゲーム以外に用いて、ユーザーの購買意欲や満足度を高めることをいいます。

3. 0 to 0とは、Online To Offlineの略でゲームにおけるユーザーのモチベーションやロイヤリティを利用して、実店舗における購買活動に結びつけ、実店舗の集客支援につなげる仕組みをいいます。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## （資産）

当第2四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて751百万円減少し、1,972百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少（前事業年度末比137百万円の減少）、及び繰延税金資産の取崩し等による流動資産のその他の減少（前事業年度末比468百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて143百万円減少し、587百万円となりました。これは主に、関係会社長期貸付金の減少等による投資その他の資産の減少（前事業年度末比119百万円の減少）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ895百万円減少し、2,560百万円となりました。

## （負債）

当第2四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて153百万円増加し、677百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加（前事業年度末比300百万円の増加）があった一方で、未払金の支払い等による流動負債のその他の減少（前事業年度末比217百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、65百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ153百万円増加し、743百万円となりました。

## （純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて1,048百万円減少し、1,817百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、1,191百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により使用した資金は、426百万円となりました。これは主に、税引前四半期純損失790百万円の計上があった一方で、売上債権の減少145百万円、法人税等の還付148百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、12百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により獲得した資金は、301百万円となりました。これは主に、借入による収入300百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年6月26日の「業績予想の修正及び特別損失の発生、繰延税金資産の取崩しならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

通期業績見通し（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

売上高	5,800百万円（前事業年度比10.1%の減少）
営業利益	△1,050百万円
経常利益	△1,050百万円
当期純利益	△1,600百万円

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,328,908	1,191,156
売掛金	770,108	624,815
その他	625,552	156,946
流動資産合計	2,724,568	1,972,918
固定資産		
有形固定資産	237,997	214,470
無形固定資産	24,795	24,261
投資その他の資産	468,204	348,771
固定資産合計	730,997	587,503
資産合計	3,455,566	2,560,422
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,690	180,719
短期借入金	-	300,000
その他	414,684	197,111
流動負債合計	524,375	677,831
固定負債		
資産除去債務	64,892	65,260
固定負債合計	64,892	65,260
負債合計	589,267	743,091
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	865,850	865,951
資本剰余金	864,850	864,951
利益剰余金	1,135,598	85,267
株主資本合計	2,866,298	1,816,170
新株予約権	-	1,160
純資産合計	2,866,298	1,817,330
負債純資産合計	3,455,566	2,560,422

(2) 四半期損益計算書  
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)
売上高	3,254,402	2,880,655
売上原価	2,433,212	2,882,659
売上総利益又は売上総損失 (△)	821,189	△2,003
販売費及び一般管理費	590,577	625,075
営業利益又は営業損失 (△)	230,612	△627,079
営業外収益		
受取利息	152	131
還付加算金	-	1,668
営業外収益合計	152	1,799
営業外費用		
支払利息	-	654
為替差損	7,407	4,933
営業外費用合計	7,407	5,587
経常利益又は経常損失 (△)	223,357	△630,868
特別損失		
減損損失	-	8,640
固定資産除却損	1,788	-
関係会社株式評価損	-	10,089
事業整理損	-	141,264
特別損失合計	1,788	159,994
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	221,569	△790,863
法人税、住民税及び事業税	106,000	1,145
法人税等調整額	△13,984	258,322
法人税等合計	92,016	259,467
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	129,552	△1,050,331

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	221,569	△790,863
減価償却費	24,410	24,613
減損損失	-	8,640
受取利息及び受取配当金	△152	△131
支払利息	-	654
為替差損益 (△は益)	-	△1,181
売上債権の増減額 (△は増加)	122,641	145,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,173	71,028
関係会社株式評価損	-	10,089
固定資産除却損	1,788	-
事業整理損	-	141,264
未払金の増減額 (△は減少)	△138,450	△140,650
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,668	△40,726
その他の資産の増減額 (△は増加)	△88,506	50,673
その他の負債の増減額 (△は減少)	31,858	△40,848
小計	148,315	△562,141
利息及び配当金の受取額	152	131
利息の支払額	-	△4,328
法人税等の支払額	△419,869	△8,352
法人税等の還付額	-	148,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271,400	△426,549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△200,078	△5,756
無形固定資産の取得による支出	△7,995	△5,686
資産除去債務の履行による支出	△10,088	-
長期貸付けによる支出	△152,924	-
敷金及び保証金の差入による支出	△5,358	△1,122
敷金及び保証金の回収による収入	53,883	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,561	△12,565
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	300,000
新株予約権の発行による収入	-	1,160
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,239	203
配当金の支払額	△125,762	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,523	301,363
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△718,485	△137,751
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,501	1,328,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,740,015	1,191,156



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソーシャルアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。